

2016.1.23 発達障がいを知る講演会を開催

発達障がい児の3人の保護者の講演から

・治らないものを「障がい」という。

発達障がいは4対1で男子の方が多い。



上下に線を入れると読める
我が子は、幼少時に言葉が遅かった。毎日同じ英語のビデオを見続けるなどこだわりが強かった。悩むことはいくつもあるが、例えば「大人」にふりがなをどう打つか、「大」が「お」なのか、長い間悩んでいたことがあった。

・アスペルガーの子は、感覚統合の問題で、心と体と頭がバラバラな時がある。ハードル走はどうも困る。「走る」と「跳ぶ」を同時にできない。2次障害もあって、本人は激しく葛藤して生活している。高機能自閉症の子は、幼稚園ではどこかへ行ってしまうというので、先生が腕をつかんでいた。すると自分でクールダサンできないので、激しく暴れるようなことがあつた。今、声掛けを変えて、自分でクールダウンができるよう心掛けている。手探りでいろいろ方法を試している。虐待とどちらで見守ってほしい。

・我が子は、就労している。
「我がまま、しつけができていない、努力が足りない」という見方をしないで障がいだと理解してほしい。

統計的に2人/クラスは障がい児がいることになる。

障がいの種類の境界は明確ではない。
これらの障がいのある人の中には、歴史に残る偉大な業績を残している人が多い。エジソン・アンシェタン・ビル・ゲイツ等誰にも頼らないことは自立ではない。自立とは依存先を増やすこと

講演会参加者から、3人の講演者へメッセージ

・2人ともに一生懸命子育てされていることが、実際によくわかりました。子どもは一人一人個性があり、その部分を育て伸ばしてやることが大切ですね。

・牛丸さん 「Help me が言えること」を教わりました。
・今日質問された方に応援します。勇気をもって、地域で協力し合いましょう。

・同じじが丘にて、よき理解者になりたいです。
・親さんはいろいろご苦労があり、勉強もよくされていると感じました。これからも地域の発達障がい児のことを探してほしいです。

・自分にできることがあれば応援させてもらいたいです。
・地域での理解を深めめる継続的な活動が必要だと感じました。
・我が子も発達障がいで、福祉の里にて支援を受けています。これからのが子への接し方の参考になりました。
・具体的な事例を教えてもらい、良く理解できたので、今後の対応、行動に役立つと思います。大変でしたが、今後も教えてほしいと思います。

私たち周囲の大人が変わるように。



ささえあいの家通信

2016
3月

平日の午前 10時から3時まで
377-3400

☆イベントカレンダー

予約はお電話ください。

月	火	水	木	金
	1 囲碁・将棋 10:10~	2 パソコン相談 10:10~	3 パソコン相談 10:10~	4 フットケアマッサージ 予約 13:00~
7	8	9	10「パンド体操 10:00~	11 小谷さんの 囲碁講座 10:10~
13:00~		ふくし向でも 相談会(社協) 13:00~		暮らしを語る会 13:00~
14	15 囲碁・将棋 10:10~	16	17 パソコン相談 10:10~	18
				テーマ:「3.11を忘れない」 あの震災から5年。今私たちに 必要なこと。語り合いませんか。
21	22	23	24	25
				認知症おしゃべり会 13:00~
28 ガーゼ 10:00~	29	30	31	3月6日(日) 子ども入园代行 津波の本 津波の本
10:00~ 赤ちゃんと新米お母さんに優しい気持ちの贈り物 かぎ針(2号か3号)かレース針(10号)持参 楽しくお喋り&縫かがり編み・完成品は母子にプレゼント				

本もあるささえあいの家 貸出しています

- デイロン
- ダウン症児の母親です！
- ふしぎなともだち
- もっちゃんもっちゃんもっちゃん
- パンダ鍋湯
- ようちゃんいやや
- 白閉症の僕が飛びはねる理由 東田直樹著
- 跳びはねる思考
- 福島きぼう日記
- 我が子は発達障害 育児体験記の受賞作品
- 介護 老いと向き合って 介護体験記の受賞作品
- どうせ死ぬなら「がん」がいい 近藤誠・中村一著
- 高齢者の望む平穡死を支える医療と介護
- ご飯が食べられなくなったらどうしますか
- 14歳の兵士ザザ 紛争地で生きる少年と家族の物語
- 津波の墓標 圧倒的な破壊の中忘れられぬ光景
- 認知症になつた私が伝えたいこと
- 世界がもし100人の村だったら
- マララ 教育のために立ち上がり世界を変えた少女

